

播磨町健康増進計画及び食育推進計画策定委員会（第2回）議事録

開催日時	令和5年10月16日（月） 午後1時30分～午後3時30分
開催場所	播磨町役場 第2庁舎1会議室
出席委員	（9名）
事務局	（5名）
協議事項	（1）第3次はりま健康プラン策定のためのアンケート調査結果報告 （2）アンケート調査結果や第1回策定委員会などからの意見交換 （3）その他
会議資料	第2回播磨町健康増進計画及び食育推進計画策定委員会次第 第3次はりま健康プラン策定の進捗状況 第3次はりま健康プラン計画骨子案 資料1 第1回策定委員会での意見のまとめ 資料2 播磨町健康増進計画及び食育推進計画策定委員会（第1回）議事録 統計データ資料 アンケート調査結果報告書【小中学生対象】 アンケート調査結果報告書【15～18歳対象】 アンケート調査結果報告書【18歳以上対象】 アンケート調査結果報告書【人事・労務担当者対象】 アンケート調査結果報告書【18歳以上対象】自由記載

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1. 開会 2. 議題
副会長	それでは、要項の規定により、議長を務めさせていただきます。不慣れではございますが、議事がスムーズに進行しますよう、何卒皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。早速ですが、会議次第に従いまして議事を務めてまいります。最初に、議題（1）「第3次はりま健康プラン策定のためのアンケート調査結果報告」について事務局から説明をお願いします。
事務局	—資料を基に説明—
副会長	質問はございませんか。
委員	統計資料の11ページの健康寿命について、兵庫県と比べると播磨町は低くなっていますが、事務局としてどう評価されていますか。
事務局	不健康な時期が短くなっているのです、どちらかというとも良い方で捉えています。
委員	健康寿命も平均寿命も両方低くなっており、兵庫県の平均を上回っているのは1つもない。これを評価しなかったのですか。
事務局	平均寿命と健康寿命は兵庫県より短くなっていますが、平均寿命と健康寿命の差をみると、県よりは短くなっています。
委員	要するに播磨町は平均寿命も健康寿命も短くなっています。例えば男性の健康寿命をみると、兵庫県は80.41歳ですが、播磨町は80.14歳となっており、0.3年短くなっています。これを評価しなかったのですか。
事務局	健康寿命は経年でみても、毎年兵庫県よりも短いのですが、少しずつ追いついてはきており、不健康な期間も、少しずつ短くなっています。
委員	変化を聞いているのではなく、県より短いという結果をどのように評価したのかということ聞いています。
事務局	医療費のデータからみると、兵庫県に比べて心疾患や脳血管疾患が多くなっています。
委員	そういった分析をして、播磨はこういう状態だと評価しないといけないのではないのですか。
事務局	様々なことが絡まっているとは思いますが。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	絡まっているから分析しないとイケない。データだけを見てもわからない。健康寿命は策定しようとしている計画の1番のキーであるため、評価をしなくてはならない。アンケートを沢山取ることが大事ではない。アンケートは主観的に答えることである。
委員	よろしいですか。
副会長	お願いします。
委員	例えば、男性の平均寿命が兵庫県で81.85歳、播磨町は81.38歳となっており、数字で見ると差があります。しかし、割合で言ったら非常に小さくなっています。誤差の範囲と考えてよいぐらいだと思います。
委員	これを有意差なしと評価したのですか。有意差なしとなったのであれば有意差なしと言ってもらいたいです。統計学で有意差ありと書いている結果が出ます。主観で答えずに、これは有意差がなく、誤差ですと答えたらよいです。有意差はあるのですか。
事務局	申し訳ありません、そこまでは答えられません。
委員	95パーセント評価で有意差ありかなしかを言ってもらいたいです。
副会長	統計学は詳しくありませんが、有意差があるのかないのかは答えられますか。
事務局	このデータは今日届いたばかりの速報という形であり、これから分析させていただきます。 アンケートの報告書の方も、最終は結果として分析した内容として記載させていただきますが、今は速報値という形で出しており、そこを絡めた分析はまだできていません。
委員	それでは、少し聞いてもよいですか。このアンケートをどう使うつもりですか。取っただけではなく、どう使うかが問題です。
事務局	今説明しましたアンケートは、本当に出たものをそのまま出しているだけなんです。
委員	それはそれで結構です。
事務局	その中で例えば年代別でもう1回集計とるということは今からやっついていかないとイケないことです。
委員	年代別の分析もよいが、設問をどういう目的で出したのか、その説明に対して予測値があり、予測値がどうずれていたかまで言ってもらいたいです。予測値通りやったら何をするか、予測値より上だ

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
副会長	<p>ったらどうするのかということをお願いしたいです。取っただけでは駄目です。</p> <p>何かご意見、ご質問ございますか。ないようですので、次の議題に移ります。議題（２）「アンケート調査結果や第１回策定委員会などからの意見交換」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	—資料を基に説明—
事務局	<p>進行は私の方で引き取らせていただければと思っております。どなたからでも気になる部分があれば、ご意見いただけるとありがたいと思います。</p>
委員	<p>私がこの中で１番関心があるのは心の健康です。心の健康というものはかなり漠然としていて個人差もあり、難しいはずですが。この計画で出てくるタバコやアルコールは身体的な健康に対してはよくないと思います。タバコも吸わない方がよいし、アルコールもほとんど飲まない方がよいと思います。しかし、これらは法律的に麻薬ではなく販売しても良いと認められているのはなぜかという、心の健康のためであると思います。タバコを吸うと安心し、お酒を飲むと落ち込んでた人が心の健康を取り戻すことができるという部分があるのではないかと専門家ではありませんが想像しています。</p> <p>心の健康と体の健康の両方大事ですが、心の健康をもう少しアピールしても良いと思います。タバコは悪い、アルコールは悪いと言っていますが、心の健康にはプラスになっている部分がおそらくあります。そのため、節度を持ってアルコールを飲むのです。私はお酒があまり好きではありませんが、飲み会の席ではしっかり飲みます。飲み会の席の雰囲気はものすごく好きなので、心の健康が回復したり、維持されるのだと思います。そういった話をあまり出てきていないと思いますが、取り上げてアピールして欲しいと思います。</p>
事務局	<p>心の健康の部分で健康増進計画となると、高齢期だけをイメージしがちですが、壮年期や特に思春期においても不登校の話等があるため、それも健康の一部ではあるかもしれないです。そのあたりで具体的なエピソードはありますか。</p>
委員	<p>朝食をきちんと取ることや朝食が取れていないことという目で見たと時に、問題行動のある子どもは朝ごはんを食べたり食べなかったりすることがあると思います。このような会議でどのようなことに着目するかということとはとても難しいですが、せっきくの会議で播磨町としてのアクションを起こすので、非常に広い分野において全部に対して取り組むのは無理があるため、分野によってはアクションをせずに注目していくというやり方も必要なのではないかと思えます。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>今のご意見に被せてご意見等があればご自由にどうぞ。なかなか切り込んでいきにくい話だと思います。専門的な立場や経験的な立場でも構いませんが、ご発言いただけると良いなと思います。表で見ると、思春期までの対策が子育ての部分しかなく、子どもを当事者とした時の健康があまり扱われていないと思います。場合によっては教育委員会側で何かされているのかもしれませんが、この計画には載っていないというのが1つのポイントだと思います。関連する話がもしあったり、全然関連していなくて話題を切り替えようということでもよろしいですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどもお話されていたことと関連があるようにも思いますが、最近自治会でも地域コミュニケーションの希薄化がどんどん進んでいます。播磨町はかなり転換期に来ていると思います。子どもたちは集団登校しており、その中で問題を起こす子どももいるかもしれませんが、ただ、地域で今わずかに残っているのは、子どもたちの子育ての部分だと思います。今はもう遠方に通勤する人が多く、町内で働いている人は少ないため、寝る場所に近くなってしまっています。地域の部分で、心の健康に話が戻りますが、そういった部分がうまくこうミックスしていけば、心の健康が維持でき、さらに身体的な健康にも繋がっていくと思います。そういったところがうまく計画に載せられたらよいと思っています。</p>
事務局	<p>どう載せていったらよいのだろうと思っており、どなたかアイデアをいただけるとありがたいです。</p>
委員	<p>シニアクラブではご存知のように、高齢者層もたくさんいます。しかし、そういった組織でなければ触れ合いません。ご近所の人とは話し合いません。昔は触れ合いがありました。今は違います。1歩も外に出ないため、隣の人が何をしているのかもわかりません。話し合いができないので、知らない内に誰かが亡くなったという話も頻繁にあります。そういった触れ合いや繋がりを重要視することを考えていかないといけません。シニアクラブでも取り組んでいきたいと思いますが、やはり皆で集まることは少ないです。私が聞いている中でも1人暮らしの方が徐々に増えてきており、話す機会が非常に少なくなっています。やはり人間は、他人と触れ合って話し合わないと生活できません。</p> <p>例えば自分で買い物へ行ってもその道中でも話をするのがなければいけません。心の触れ合いというのはやはり人の繋がりで、まずは人の繋がりをいかに大事にしていくかを幼少時から考えていかないといけません。小学校、中学校でも子ども会もPTAも昔ほど活動がありません。私達の時代では、青年団や消防団が地域にあり触れ合いがありました。今は徐々に少なくなっています。勿論個人の繋がりはあります。心の病は個人の持っているものなので、なかなか判断できないですが、重点的に取り組んでいかなければいけません。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	今はよくも悪くもご両親が忙しいです。そもそも決まった時間にはご飯を食べていません。婦人会自体も昔は各自治会にありましたが、今はないため播磨町には全部で85人の会員さんがいますが、各自治会にまでは会員さんがいません。そうすると、ふれあい訪問に行くにしても少し手が回らない等、色々な問題を抱えています。昔であれば近所のおばちゃんが怒ったり、叱ったりしてくれましたが、今はそれも希薄になっています。それは世の中の仕組みであり、悪いということではありませんが、根本の問題はそこです。今は学校でもそこまで踏み込めないため、対応するのが難しいと思います。食もそうですが気持ちもそうです。食が貧しいと性格や精神的にも影響があります。
事務局	そういった意味では、心の健康の中で繋がりもそうですが、孤独・孤立への対応をしっかりと行った方がよいと思います。国においても高齢者や子どもという括りではなく、全ての人の孤独・孤立をどうするかがテーマになっています。具体的にどうするかということはさておきになりますが、テーマとしては孤独・孤立というのはあるのではないかと思います。
委員	子どもだけではなく色々なことをする場所についても考えていかなければならないと思います。
事務局	ありがとうございます。今、心の健康の部分でアイデアが出ていますが、その他ご意見はいかがでしょうか。
委員	ここで議論していただいている方の年齢を考えると、高齢に近い層が中心になって話をしています。実際にこういう計画を作っていく時に、思春期までや、小学生、中学生という当の本人たちの考え方や意見がどういう状況になっているのかを、私達の年代の人間が全て把握できているかということそうではないことが多いと思います。もう少し本人たちの意見を聞いてもよいと思います。そういった意見を出してもらい、まとめていった方がよい案ができるのではないかと思います。
事務局	それはやりましょう。
委員	小中学生、あるいは15歳から18歳対象にもうすでにアンケートは取られています。
委員	それは大人が目線を見た質問のアンケートであって、子どもから出てくる問題点もあると思います。
委員	しかし、大人がつくらないとアンケートはできません。
委員	アンケートという形にすると、その形の答えが出てきますが、子どもたちの視点から見た意見ではないと思います。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	このアンケートでは不足であるということですか。
委員	<p>どうしたら自分たちの環境が良くなるかは、子どもたち自身の方がよくわかっていると思います。経済的なことなどは大人が見ることができですが、子どもたちの社会や繋がりというのは、子どもたちと私達の年代の環境が全然違うため、今の環境の中で育っている子どもたちがどこでつまづいているのか、どういうことに困っているのかはやはり子どもでないとわからないところもあると思います。</p>
委員	<p>それはそうですが、私は、食育、健康というタイトルからして心の健康やアルコールの問題まで含んでるということに驚いています。無理です。そんなのできるわけがありません。逆に言うと、ここまでこういうことを考えてやっているという報告書はこの内容で作ることができます。播磨町はこういった立派な報告書を作成したという成果はあります。もしかしたら、それが1番の目標なのかもしれませんが、今の話はそういったことではなく、本当に改善するにはどうしたらよいかという話です。どの辺を狙っていくのですか。</p>
事務局	ものすごく鋭い質問です。
委員	事務局を責めるのが委員の仕事ではなく、事務局にもし足りないところがあれば、それを補うのが委員の仕事だと思います。
事務局	<p>この間も子どもがどう考えているかということについて子どもと一緒にディスカッションする機会がありました。子どもも意外と本当にしっかり考えており、意見も言えます。私たちが今の子どもの世界を知らないのだと感じました。大人が大人だけの考えで作るのはどうなのかというご意見もすごくわかります。それではどうしていくのかという話になるとまだぼやとした感じですが、今色々ご意見を出していただいている中から、この町の皆さんが最終的に健康になっていただけるようにするにはどのような政策をしていけばよいか、何を目指していったらよいかは一緒に考えながらやっていただいている最中だと思います。</p>
委員	<p>子どもの目線は大事です。大人が上から目線で子どもはこうだろうと考えることは、子どもの目線で考えることは少し違ってくると思います。例えば、朝におはようと子どもには言いますが、本当に子どもの目線に下がっておはようと言っているのかと私はいつも帰って自問自答しています。それがすごく難しいです。ディスカッションでも子どももやはりよい格好の言葉も言います。大人もそうですが、子どももやはり全部が全部100パーセントの答えは出さないと思います。しかし、出さないからしないのではなく、同じことを何回も繰り返していくことによってできていくのだと思います。私たちは子どもの目線になって考えていけないといけないと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>この中の方にもたくさんご参加いただきましたが、先週、播磨町の地域公共交通を考える会議があったのですが、年齢を区切ってやりました。中学生が15人ぐらい集まって話しましたが、彼らが1番何を話していたのかというと、移動には困ってないということです。しかし、雨の日が困るという話をはっきり言っていました。雨の日に何が困るのかかというと、雨が降っていると自転車に乗れず、移動ができなくなり、お父さんやお母さんがいないと本当に遠くに行けなくなるが、バスに乗ろうという気は全くしないため家に引きこもると言っていました。そういった話はアンケートには出てきませんがリアルな情報として重要な話だと思いました。事務局の中でスケジュールを立てて、子どもたちの意見を聞く場を作っていたらよいと思います。子どもたちに限らず、青年期、壮年期の今働いている皆さんに話を聞くという部分で、例えば播磨町役場の職員に話を聞くみたいなことがあってもよいのかもしれませんが。もう少し年代ごとのリアリティを追いかけてもよいかもしれません。この項目に限らずに、気になる点についてコメントを頂ければと思います。</p>
委員	<p>スケジュールは文書で出されるのか、例えば小学生対象にこういった内容ができるのかどうかを対話しながら作る形になるのですか。</p>
事務局	<p>年度末に向けた三角形のスケジュール表で、計画の委員会が今日を除くとあと3回あるという予定だったと思いますが、この間でもう少し話を聞いたりする場を作っていく形になります。</p>
委員	<p>最終的なものを出す段階の前にやってみるという試行の段階があるのですか。</p>
事務局	<p>そうです。場合によっては6年間の計画の間に話をしていくということを計画の中に入れ込むということもあり得ると思います。</p>
委員	<p>まず、食育という言葉から私が連想したのは、やはり食事内容です。それでは、食事の材料はどこから来るのかを考えると、播磨町は農業がどんどん縮小しており農地や畑、水田が宅地に変わっています。この状況を変える力は、誰も持てないです。個人が所有している土地がどのように処分されて変わっていくのかは当人しか決定権がありません。行政としては税金や補助金といった形で何かしらのインセンティブを与えれば変わることもあり得るのかもしれませんが簡単にはいきません。私は播磨町内でもっと農産物、野菜が生産されるべきだと思います。海は漁業権を放棄してしまって漁協もあるようなないような感じになっていますが、播磨町内で取れたものを播磨町の住民が食べる、播磨町の海でとれた魚を播磨町の人食べるということも長期計画の中で書いてあってもよいと思います。非常に難しく、絶望的な状況ではありますが、そのまま見送って何もしなくてもよいとは考えたくありません。何かできることが</p>



議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>あればと思います。</p> <p>今は給食にタコ飯等があります。タコ飯や地元で作った味噌のお味噌汁が給食で少しずつでも増やしていければよいと思います。</p>
事務局	<p>私も播磨町が地元ではなくて、他所からやってきましたが、声としてよく聞くのは、子どもたちは学校でふるさとの経験をしています。引越してきた面々が地元のもの食べたことがなく、そういった経験をする場面がほとんどないということです。青年期、壮年期に当たるかもしれませんが、そういった人たちにもそういった環境があってもよいのかなと思います。テーマが食育のようなところになってますが、他の皆さんはいかかでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどの話に関連しますが、今回作る計画は頭に播磨町の名前がついているため播磨町の独自性がなければ作る意味がありません。そのため、播磨町の計画であるというアピールはしてほしいし、それがわかるようにしてもらいたいです。播磨町の独自性をどうやってアピールするかということですが、統計データ等を含めて分析すると播磨町の特徴が出てくると思います。その特徴に対してどういうアクションを取るかが播磨町の独自性だと思うので分析は必須です。播磨町がどのような状態なのかをしっかりと知ることから始めなければ、播磨町の独自性は出てこないと思います。農業や漁業の話がありましたが絶滅危惧種です。それはそれで大事ですが全体の話にはなりません。播磨町全体として、移ってきた人を含めて播磨町に住んでよかったと実感できないといけません。それをどうやって健康面からアプローチするかを考えるのがこの計画です。</p>
事務局	<p>それは事務局の宿題です。</p>
委員	<p>次出てくる素案は楽しみです。一般的なものだけが書いてあるものではないけません。</p>
事務局	<p>もし医療や健康、歯科のような面で、他の町と比べた時に播磨町で言えることはありますか。</p>
委員	<p>歯の面では検診も近隣並みに取り入れています。</p>
委員	<p>今回特筆することというところどこに重きを置くかが大事です。心の健康のことやアルコールのこともあります。これからはここに元から住んでない人が入ってくるだけなので、その人たちにどのように認識させていくかが問題です。今まで住んでる人はある程度わかると思います。新しく入ってきた人はアパートにも入らず、自治会にも入らず、回覧板も回らないため、どういう風に周知していけばよいか難しいです。やはり希薄になってきています。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>そういった意味では播磨町がこういった取り組みをしているということの周知自体も重要です。</p>
委員	<p>周知をさせることが難しいです。発信をしても認知してくれないからといってそこで終わってはいけない。</p>
委員	<p>播磨町は規模が小さいため、非常に俊敏に動いていただいております、ワクチンであっても最初に助成を取り入れていただいたり、今回の特定健診の中でも早期受診キャンペーンといった対応をいただいています。病気に関しては、検査の方で、やはり心疾患が多く、癌も多いというところがあり、健診における受診率の低さは、かなり影響しています。検診を受けられる人は大体毎年のように受けられるし、受けない人は受けません。受けなければ癌が進行している状態で見つかり寿命が短くなってしまいうところが多いのは確かです。そういった人にいかにして健診を受けてもらうかは、どの自治体も同じように苦労されているところです。何かよい方法があればどこもやっているところだと思うため、難しいところです。</p>
事務局	<p>前回の意見交換の中でも健診を受けているのか受けていないのかという話題は多く出ていたと思います。そういったところが受けやすくなるように行政側もフォローはしていますが、なかなか受ける人と受けない人がいるといったことはあります。</p> <p>今の話で重要だと思ったこととしては、播磨町らしさをこの計画にどのようにうたっていくかということです。コピーアンドペーストのどこの町でもありえることではないものがしっかり作れるとよいと思います。</p> <p>そういった意味では、この前にも、1から7までの分野がありますが、全てを平たくするのではなく、今回はこの心の健康のことを頑張ろうという強弱があってもよいと思います。その他、質問でもよいですし。気になる点等があればご意見を頂きたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>20歳以上の食に関するアンケートは兵庫県が5年ごとに行っているため結果がわかりますが、小学校・中学校・高校のアンケートは今回初めて見ました。アンケート結果の中でショックだったこととして、朝食を食べていますかという設問で、ほとんど毎日食べるという人が約8割となっており、そこにフォーカスしてしましますが、食べないという子どもが1割近くいらっしゃいます。</p> <p>いずみ会でも色々なイベントを行う中で子どもにアンケートを取る機会がありますが、踏み込んでいけない部分があった。今回、アンケートを見せていただく中で1割ぐらいですが、実際に食べる習慣がなく、朝食が用意されていないというような結果がありました。格差のない食事という面で、高齢者の食事は問題視されていますが、若い世代の問題は表に出ません。パーセンテージは低いですが、アンケートで見えてきたのはすごい内容だと思います。このあたりも何かしていけたらと思います。よくこども食堂というものが</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>あります。お家にボランティアが入っていき、食事を作るおうち食堂というものもやっているところがありますが、心を開いてくれない子どもにも何回か訪問する中で話をしていけるのが理想です。情報が行政からも出てこないし、一步踏み込むことができない部分があります。せつかく子どもがアンケートでこのように声を上げているため、大人がどうするのかという話だと思います。</p> <p>今の話で重要なこととして、アンケートは数が出るため多いからよいと思いがちですが、少数派の部分にこそ課題があるため、そういったところに対し、どのような手立てを立てていくかが非常に重要だと思います。あまり数の論理で、多いから大丈夫って思わないということも大事だと思います。</p>
委員	<p>こども食堂を考えたこともありますが、ある方に相談したら難しいと言われました。しかし、こども食堂が無理であれば子どもの居場所を作ってやりたいと思います。食育ではなくても精神的なワンクッションを置いて家に帰ることのできる場所を作ってあげたいと思います。みんなと一緒に集団登校できない子の居場所についても考えたことがあります。自分たちの子どもが自治会ですごくお世話になったため、上から目線ではなくて考えていければよいと思います。やはり朝食は難しいです。</p>
委員	<p>昨日聞いた情報では、隣の明石市にはこども食堂が市内に51か所あり、こども食堂が子どもの居場所になる以上に親同士の繋がりをつくることのできる、親が安心できる場になっているという効果が現れています。自分たちがこども食堂を作る側で参加することにより、友達が増え、親同士が安心できることにもなっているということです。誰かのためにやってあげるといより、まず自分たちのためにやるということで食堂としても機能していると聞いています。ちなみに明石市はこども食堂を立ち上げる際に大きく補助金がもらえるような仕組みが立ち上げ期にはありました。今はもうなくなっていると思いますが、1つの小学校区に大体2個ずつぐらいこの食堂がある状態ということです。播磨町でも同じことができるとよいと思います。</p>
事務局	<p>結構重要な話をさせていただいているなという風に思います。</p>
委員	<p>地域性があまりありませんが、海の方では播磨町の特産物をふるさと納税に向けて考えています。実現できれば播磨町の特産物もアピールできると思います。</p> <p>子育てを終えてしまい、昔の子どものことをよく覚えていませんが働きながらの保護者はすごく大変で、ご飯を面と向かって一緒に食べられることが私もありませんでした。子どもたちにご飯を作り、早く学校に行きなさいと言ひ、自分にご飯を食べ、その後に仕事に行くという毎日でした。ゆっくり一緒にご飯を食べられるということは本当に素晴らしいことですが、そういったことができる保</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>護者がどれだけいらっしゃるのか統計を取っていただきたい。</p> <p>ありがとうございます。少しそういった部分で仮説が立ち、統計データで結果が取れるとよいと思います。</p>
委員	<p>1人で食べていても、保護者がそばについているだけでも、孤食ではないと思います。保護者が一緒に食べないといけないではなく、保護者は後でゆっくり子どもが食べた後に食べ、仕事に行くときは仕事に行き、子どもを送った後にご飯を食べてもよいと思います。</p> <p>保護者が横でしっかりと見ていてあげるだけで孤食ではないと思うので、そういった時間を5分でも作ってもらったら楽ではないかなと思います。子どもがしっかり自分のこと、私のこと見ていてくれると思うことができれば一緒にご飯を食べる必要はないと思います。絶対一緒にご飯を食べないといけないのではなく、横にただ立っているだけでも全然違います。保護者が朝の5分ぐらいはそばに立てるとは思います。一緒にご飯を食べなくてもよいので少しだけでも話を聞いてもらうだけでも違うと思います。一緒に食べる必要はありませんが、少しだけそばにいてしっかり学校に行くまで見ていてあげるだけでよいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>子どもや食事といったところが、健康というテーマから広がっていています。最初は心の健康から話が始まり、子どもの健康というところに話が移っていますが、健康づくりの部分でわかりやすいところでは2番目の部分に身体活動や運動のような内容があります。町としては健康ポイント制度を頑張っていこうというところがあります。サンプル数が少ないためバイアスがかかっていますが、事業所にアンケートを取ってみると健康ポイント制度に積極的に協力しようという事業所が少なくなっています。健康や身体活動、運動について、コメントやご意見、アイデアがあれば、いくつかいただけると嬉しいです。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>公民館で百歳体操をやっています。いつも集まるのは7、8人です。自治会には80歳以上の方が約70人おり、年に1回、長寿のお祝いでお菓子を配っています。そのぐらいは受け取ってくれますが、百歳体操をやろうといっても始まりません。公民館はすぐにいっぱいになってしまいますが、どうやったら集まるのでしょうか。</p>
委員	<p>ほとんどの自治会で健康体操や喫茶をやっても、同じメンバーやみたいなところはあります。</p>
委員	<p>この間やって頂いた健康測定を年1回ではなくもっと増やしてインセンティブをつければよいと思います。ただ体操をしているだけでもよいのですが、少しインセンティブつけてあげれば参加者が増えると思います。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>私の地区でも百歳体操は仲間が集まってやっているという認識です。声をかけてやっているということにはなりません。仲間内で一緒に行こうと言ってやっています。やらないよりはよいですが、なかなか広まりません。播磨町の特色ある健康づくりをやっていかなければいけないと言っても播磨町というのがわかりません。地域性を活かしたことをやっていくということが大事です。播磨町の特色のあるふるさと納税をやるといってもすぐ思い付きません。それは特色のあるものがないということです。</p>
委員	<p>身体活動や運動という面でシニア寄りの話にはなりますが、私の地区で、シニアクラブが色々な活動をしています。その中で、希望者に対して、チャレンジポイント制度をやっています。シニアクラブの会員で希望者が加入するという形ですが、例えば、インフルエンザワクチンを打てば何ポイント、定期健康診断を受ければ何ポイントという形のものがあります。基本的には公園が2つあり、公園の維持管理を、播磨町から自治会、自治会からシニアクラブという形で委託されているため、基本的には月に数回の清掃活動を行っています。清掃活動と言っても、かなりの労働であり、年々高齢化が進む中で60代の若い世代が入ってこないという問題を抱えながらも活発に活動しています。自治会の中で最も働いているのがシニアクラブと思うぐらいです。ポイント制度は参加費も出しますが、年度末に参加費を軽く上回る商品が出るという形のもので始めてからかなりの年数になっています。播磨町でも同様の仕組みができないか担当者の方に代々話しています。私の地区のシニアクラブは、健康寿命を伸ばすために、家にこもらず、外へ出て、役に立つ仕事をし、それによって健康的な毎日を維持できるようにするという目的でやっています。そういったことも参考になると思います。</p>
事務局	<p>まさに、フレイル予防のところです。先ほどのデータにもありましたが、要支援、要介護の介護認定を受けている人は、徐々に右肩上がりになっており、いかに高齢化しながら健康でいられるかがこれからのポイントなのだと思います。統計的な部分の分析や解析と仮説を立てることを宿題でやってほしいというのが大きなところでありました。また、計画の素案も月並みのものではなく、本日出たような意見を踏まえながら、播磨町らしさが見える計画にしてほしいという意見がありました。その他、皆さんから事務局にお願いすることがあれば言って頂ければと思いますがいかがでしょうか。1年で作る計画であり、スケジュールが全て先まで決まっており、また来月お会いする状態なのでしっかりと議論ができればよいと思っています。これまでの行政計画は基本的にこういう場では承認しかせず、あまり意見が言えなかったことがほとんどだと思います。基本的に、会話をしながら作っていくことが重要だと思いますので、引き続き事務局にもご意見いただきながら進められたらよいと思っています。それでは進行をお返ししたいと思います。ありがとうございます。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
副会長	色々ご意見をいただき、ありがとうございました。議題（3）「その他」について、事務局から何かございましたら説明をお願いします。
事務局	議題（3）その他 3. 閉会